

## 「岳南中学校の屋久島横峯遺跡活用の取組」

1. 学校名	屋久島町立岳南中学校
2. 学年・人数	全校生徒 80人
3. 日時・場所	<p>(1) 学習会等の日時・場所</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和7年4月～令和8年3月 学習会：総合的な学習の時間</li> <li>・ 令和7年7月8日（火）史跡見学及び縄文文化（火起こし、縄ない、ミニ竪穴住居作製等）体験（屋久島横峯遺跡、1・2年生53人が参加）</li> <li>・ 令和7年10月24日（金）中園聡鹿児島国際大学教授による屋久島横峯遺跡に関する講演会（岳南中学校にて）</li> </ul> <p>(2) 発表の日時・場所</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和7年10月31日（金）岳南中学校文化祭において、学習成果（縄文の生活とSDGsのつながり）を踏まえた劇を上演（1年生）</li> <li>・ 令和7年11月20日（木）本校において、学習成果をポスターセッション形式で発表</li> </ul>
4. 活用に取り組んでいる史跡の名称・時代・特徴について	<p>(1) 名称・時代 屋久島横峯（よこみね）遺跡：縄文時代後期（約4000年前）</p> <p>(2) 特徴等 全面積の約9割を山地が占める屋久島の中で比較的なだらかな斜面が続く、島南東部の安房横峯地区にある遺跡である。注目点としては、西日本の縄文遺跡の中で比較的早くに縄文人による整地の痕跡が確認されたこと。竪穴住居跡が切り合い、密集した形で126基確認され、西日本最大級の集落遺跡と呼べること。海や山から適度の距離を有し、津波などの危険を避けながら、両方からの食糧供給を可能としていたこと。湧水地や河川が集落の脇にあり、巧みに水源の確保や河原の花崗岩を利用した石器づくりが行われていたこと等が判明しており、屋久島の自然環境に精通し、それを上手に利用しながら生活した事が予想されている。</p>
5. 活用の取組において地域との連携や工夫した点等	<p>令和7年7月の史跡見学及び縄文文化（火起こし、縄ない、竪穴住居復元等）体験においては、地域の方々がつくる横峯遺跡の保護・管理や広報に取り組む「横峯縄文クラブ」のご協力をいただき、見学や体験活動を行った。</p> <p>また、10月の中園教授講演会についても広く島内に参加を呼び掛け、地域の方々や高校生等の参加も得て、同遺跡の歴史的意義を広めるよう腐心した。</p>
6. 取組の様子（研究発表等）	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>ミニ竪穴住居の作製作業</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>中園教授講演会</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>ポスターセッション発表会</p> </div> </div>
7. 感想・意見（参加児童生徒・保護者・保存会・教員等）	<p>【生徒】</p> <p>私たちの班は縄文時代のゴミをどう処理したのかなどを元に、現代のゴミ問題につなげていくことがテーマだった。今回の講演を聴いて新しく分かったことや、自分たちの考えの根拠となる部分をたくさん知ることができた。（中略）西日本最大級、そして初めて土木工事をしていた事が明らかになった遺跡が、地元にあることが誇らしい。</p>